

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぶ		
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業員評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年2月14日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有がしっかり行われていること	情報共有の徹底を図っている 小さなことでも報告し合いながら、全員で状況を確認できる体制を作っている	報告・連絡・相談の徹底を今後も継続しておこなっていく
2	療育内容を計画的に立案し、計画に沿って行っていること	療育内容は目的、習熟度、ニーズに沿って立案している SSTについては固定した内容にとらわれず、その場に応じた対応を行うことで場面に則した行動等を身につけられるように工夫している	利用児童の状況に応じた療育が提供できるよう、日々職員間で話し合いながら事業所全体で対応していく 利用児童の特性をきちんと把握しながら療育を提供する
3	保護者の不安や悩みなどの相談ごとに真摯に対応していること	保護者からのSOSを見逃さないよう職員の指導を行っている 日頃の声かけ等により、相談しやすい環境づくりに気を配っている 保護者の急な相談ごとに対して、職員間でフォローし合う体制ができている	今後も保護者の様子や利用児童の様子の変化を見逃さないよう心がける 不安や悩みなどについては、対応職員だけでなく全職員がフォローし合いながら問題解決に繋がるよう努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置について	家族の転勤、急な体調不良に対する人員の確保等	来年度から1名採用予定 来年度の利用人数等の状況も踏まえながら、療育の質を落とさずに人員を確保できる体制の構築を検討していく
2	地域との交流の機会の提供	保護者のニーズに差がある 将来的に地域で活動できるように療育を行ってほしいとのニーズが多い	対象児童保護者の意向を確認しながら進められるような体制の構築を検討していく
3	保護者に対する定期的な研修の実施	保護者のニーズに差がある	対象児童保護者の意向を確認しながら進められるような体制の構築を検討していく